



モルック体験イベント開催について

作成者：普及部

2025年10月

Ver.3

1. 体験イベント開催時に必要な備品
2. 体験イベントを安全に開催するために
3. モルックイベント推奨例
4. 屋内でイベント実施する場合の注意点
5. 講師派遣及びモルックのレンタルについて

1. 体験イベント開催時に必要な備品

・モルックセット

モルック棒はコート毎に複数本あった方が便利です（拾いに行き次ぎに渡す時間を短縮）

・得点表（スコア表 ボールペン バインダー等）

掲示用としては得点版やホワイトボード手元と掲示用があるとベストです（メモ帳や白板など）

・床保護材

屋内で開催する場合、床面の保護部材が必要です 別ページ参照

・スキットルやモルック棒が転がっていくのを防止する柵

柵の高さは最低おとなの膝くらいの高さとし、モルックやスキットルが転がっていかないために柵間や柵の下部から床までの間隙は5 c m以下が望ましい。コートの3方を囲う形で柵を準備する。柵の代用として2方は壁であっても良いが、壁に当たるとモルック・壁双方が傷つく恐れが高いため、マットレス等の保護材が必要。

※広いスペースが取れ、周囲に人や物がいない場合、柵は不要の場合がある。

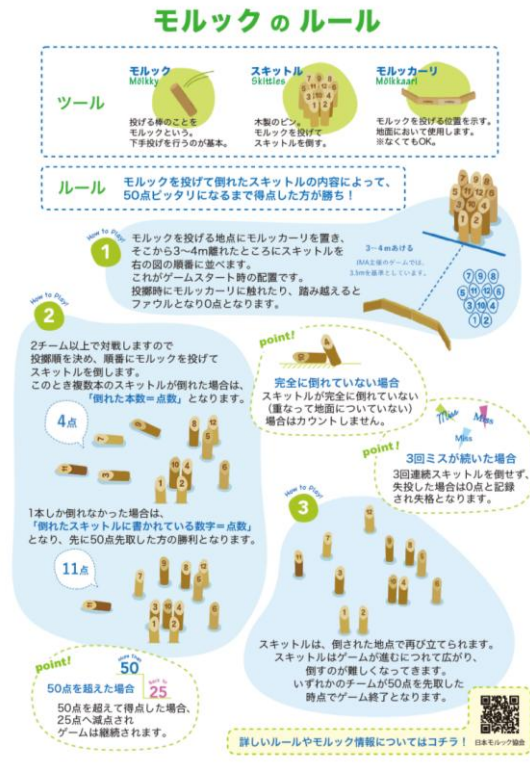
1. 体験イベント開催時に必要な備品

・モルックの遊び方ルール説明資料

事前に印刷準備しておくことをお勧めします。

下記のリンクまたはQRコードからダウンロードしてご使用ください。

<https://drive.google.com/file/d/1wR0R911xvETk-vnQSKsTcEf3Sh2QC6ei/view?usp=sharing>



2. 体験イベントを安全に開催するために

参加者の年齢について

- ・小学生高学年以上を推奨します。（幼児からでも内容によっては可能）
- ・3歳以下のお子様の場合は、危険な投擲になる可能性もあるため推奨していません。
- ・小学生低学年や幼児（4歳以上）の場合は、近い距離しか投げられないため対戦系を実施の場合はイベント内容に配慮が必要です。
- ・高齢の方や障害をお持ちの方にも対応可能です。
激しい運動にはなりませんが、スキットルを立てる動作で屈伸を必要とします。
人工芝の継ぎ目といった小さな段差でも転倒して怪我につながる場合があります。
補助が必要な場合は様子を見て判断してください。

保険の加入について

- ・イベント主催時は、万が一の事故に備えて保険の加入を推奨します。
（イベント保険や損害賠償保険などがあります）
- ・講師としてイベントに行く場合は主催者側に保険加入を確認してください。

2. 体験イベントを安全に開催するために

Smile with You. 沢山の方にモルックを楽しんで頂くために。

安全なモルック指導のポイント

ケガ無く終わろう

チェックリスト

- ☐ 地面の状態の確認
- ☐ タイムスケジュールの設定
- ☐ 参加者の待機場所の確認
- ☐ 指導員や補助の方の配置場所の確認
- ☐ 指導員が全体を見渡せる場所の確認

安心して ご参加頂こう

チェックリスト

- ☐ 明るく、元気よく
- ☐ 質問しやすい雰囲気づくり
- ☐ 分かりやすく伝える(数や視覚情報)
- ☐ 参加者に伝わるようにはきはきと
- ☐ やさしい言葉かけ

身体の使い方を 観察しよう

チェックリスト

- ☐ 重心のかかり方を確認
- ☐ 投擲方法に選択肢を
(立つ、座る、補助を入れる 等)
- ☐ 肩の可動域、膝の曲げ伸ばしに注目
- ☐ テンションの上がりすぎに注意

※上記のポイントに加えて、万が一事故が起きてしまった時の想定や迅速な対応も大切です！



モルックをご指導頂くにあたり、
初めてモルックに触れる方々に対して安全かつ笑顔でご体験頂くことを目指しています。

「指導」とは、「みちびく」こと。
参加される一人ひとりの想いを尊重しながら、誰にとっても分かりやすくモルックを伝えて頂くことが、
ケガ無く・無理なく・安全な指導に繋がると考えています。

モルック指導員として、様々な方とのコミュニケーションを楽しみ、
面白さや奥深さをシェアして頂ければ幸いです。

3. モルックイベント推奨例

【一人でチャレンジ系】

「5回投げてピッタリ30点」

- ・ 文字通り、5回投擲する間にピッタリ30点を狙うゲーム。
- ・ 5回/人とプレイ回数がしっかりと決まるので短時間で交代が可



「3回投げて30点以上」

- ・ ブレイク位置から3回投げて30点以上を目指す。（最高は36点）
- ・ 上記同様に短時間で交代が可能。
- ・ 得点をランキング形式で記録可能で、他人と競うことができる。



（人員について）

講師派遣の適正人数に関しては、1コートにつき、人員3名が基準です。

人員に関しては、当会員だけでなく、貴社・貴団体で担当いただいても構いません。

介助者が必要な場合の人員目安は、参加者2名に対して1名のスタッフを配置

（コートの広さ）屋外

横2～4m 縦5～10mを推奨

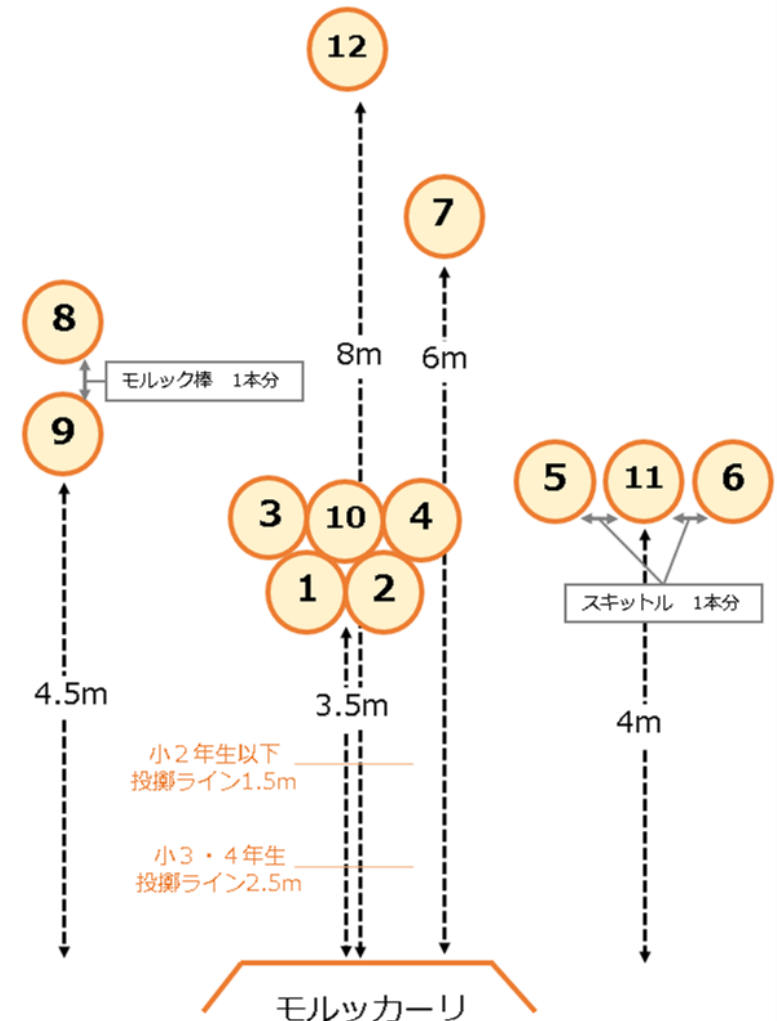
3. モルックイベント推奨例

【一人でチャレンジ系のアレンジ版】

モルックチャレンジ特別配置

- ・スタッフの人員が十分でない場合の対応例
- ・スキットルをバラバラに配置して、スキットルを立てる時間を短縮できる。

(客層に応じて配置を変えたり、調整したりする)

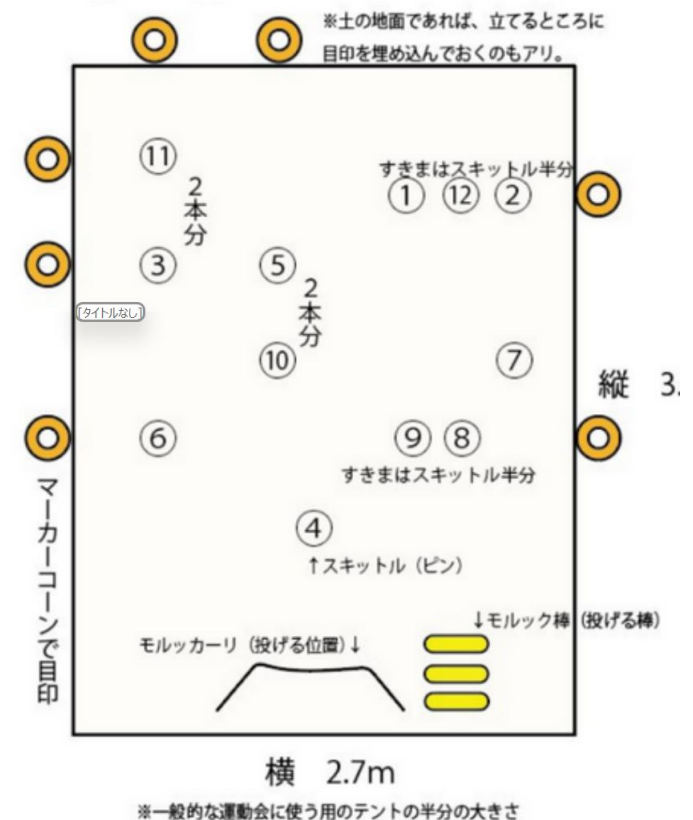


3. モルックイベント推奨例

【一人でチャレンジ系のアレンジ版】

「モルック縁日」 お祭りなどの出店の場合に

- ・ スキttlをバラバラに配置する。
- ・ 3投の点数に応じて賞品を渡す。
- ・ テントの半分の大きさで可能。右図の配置図は参考例。
(客層に応じて配置を変えたり、調整したりする)



3. モルックイベント推奨例

【対戦系】 30点ゲーム対戦

- ・ 通常のゲーム形式

（正式な50点ゲーム対戦より、時間短縮が可能）

- ・ 対戦例

「親子対決、ファミリー対決」：1対1でも複数人チームでもOK

「スタッフと対決」：当日の対応スタッフと本気の対戦も盛り上がる。

（スタッフであれば試合時間をコントロールできる）

「複数チーム対決」3チーム対戦や4チーム対戦も可能

（人員について）

- ・ 講師の適正人数に関して、参加者10名程度につき1人のスタッフが対応することが望ましい。
（例）15名の参加者の場合は3名1チームで対戦。モルックセット2台としスタッフは2名必要。

（コート広さ）

屋外の場合、横3～6m 縦6～12mを推奨

4. 屋内でイベント実施する場合の注意点

【コートของ広さ】

- ・ 屋内の場合は下記を推奨します。

試合形式の場合 2m×7.5m 試合形式を取り入れない場合 1m×5m

【床面】

- ・ 屋内の場合、モルックによる床面の損傷や大きな音が発生しないような配慮が必要です。
- ・ 基本は人工芝やジョイントマットを敷くことを推奨します。具体的事例は次ページ参照。
- ・ 床面が絨毯で養生をしない場合は、会場管理者の許可を得てください。
- ・ 床面が畳、フローリング、コンクリート等の場合は保護なしでの実施は避けてください。



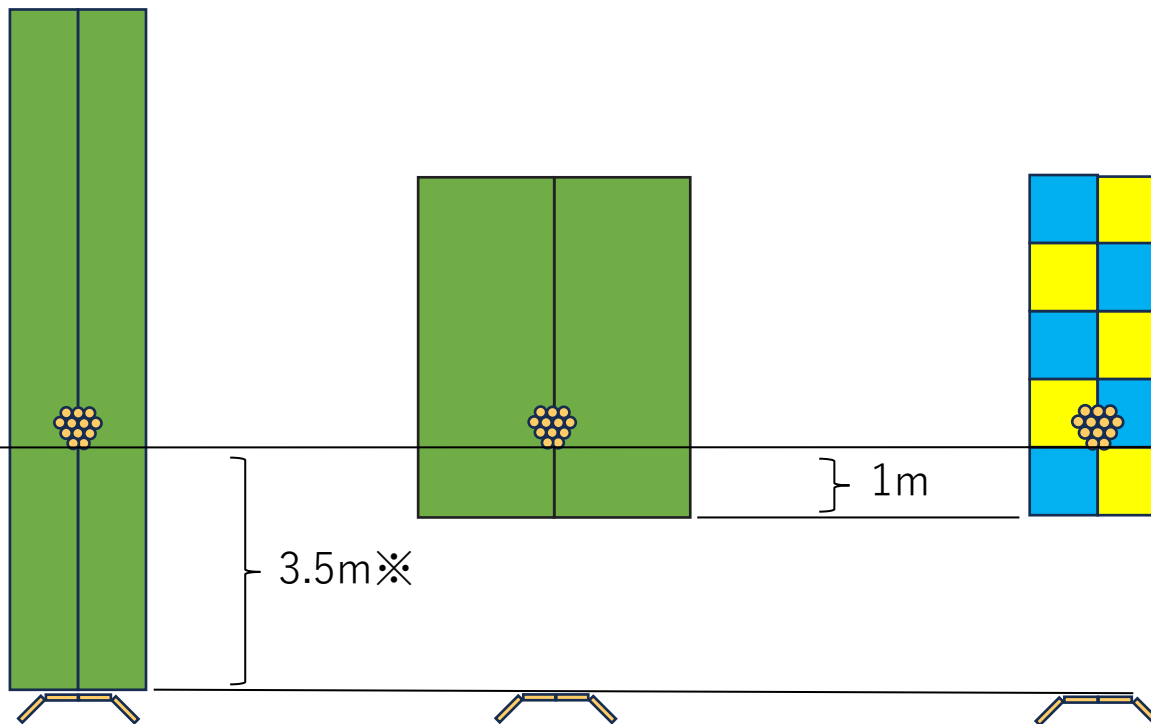
4. 屋内でイベントする場合のでの注意点

【床面保護の実施例】

人工芝：1m×10m
2個使用

人工芝：2m×5m
2個使用

ジョイントマット
1m×1m 10枚使用



※距離の目安 中学生以上：3.5m、小4～小6：2.5m、小1～小3：1.5m、幼児：1m

日本モルック協会からの講師派遣について

- ・講師派遣料

¥13,200-/人（税込み、4時間まで）

¥26,400-/人（税込み、8時間まで）

- ・道具レンタル モルックセット

派遣講師が持ち運べる場合（1～2台）は、1,100円/台（税込み）

- ・モルックバンパー（モルックの正規オプション商品…取り付けることで室内でプレイする時に床や壁を傷付けにくくなります）

派遣講師が持ち運べる場合（1～2台）は、550円/台（税込み）＋往復の郵送料

*プレイ中バンパーが外れる場合がありますので、養生で補強することを推奨しております。（お問い合わせ時に担当者にご相談ください。）

- ・人工芝：レンタル料金 2,200円/1本 ※1m×10m（税込み）＋往復の郵送料

- ・講師交通費：実費（別途ご相談）

モルックのレンタル先（参考）

OHS サプライ合同会社

<https://www.molkky-japan.com/%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%AB>



楽しい体験会を！モルックの魅力が伝わりますように！